

テクノポート福井総合公園 福井県坂井市

パーマネントコースもスプリントの時代？ 1.5km のパーマネントコースが誕生。

「テクノポート福井総合公園」コース
福井県 No.21 JOA 公認 No.783 1.5km
12 ポスト

昔なら「あり得ない」

パーマネントコースを歩き始めて30年になりますが、これまで訪れたどこよりもユニークな「日本一のコース」を紹介します。

老舗の「奥高尾」コースが最近変更されて、15km という最長コースに生まれ変わりました。今回レポートするのは、その対極にある「日本一短い」コースです。

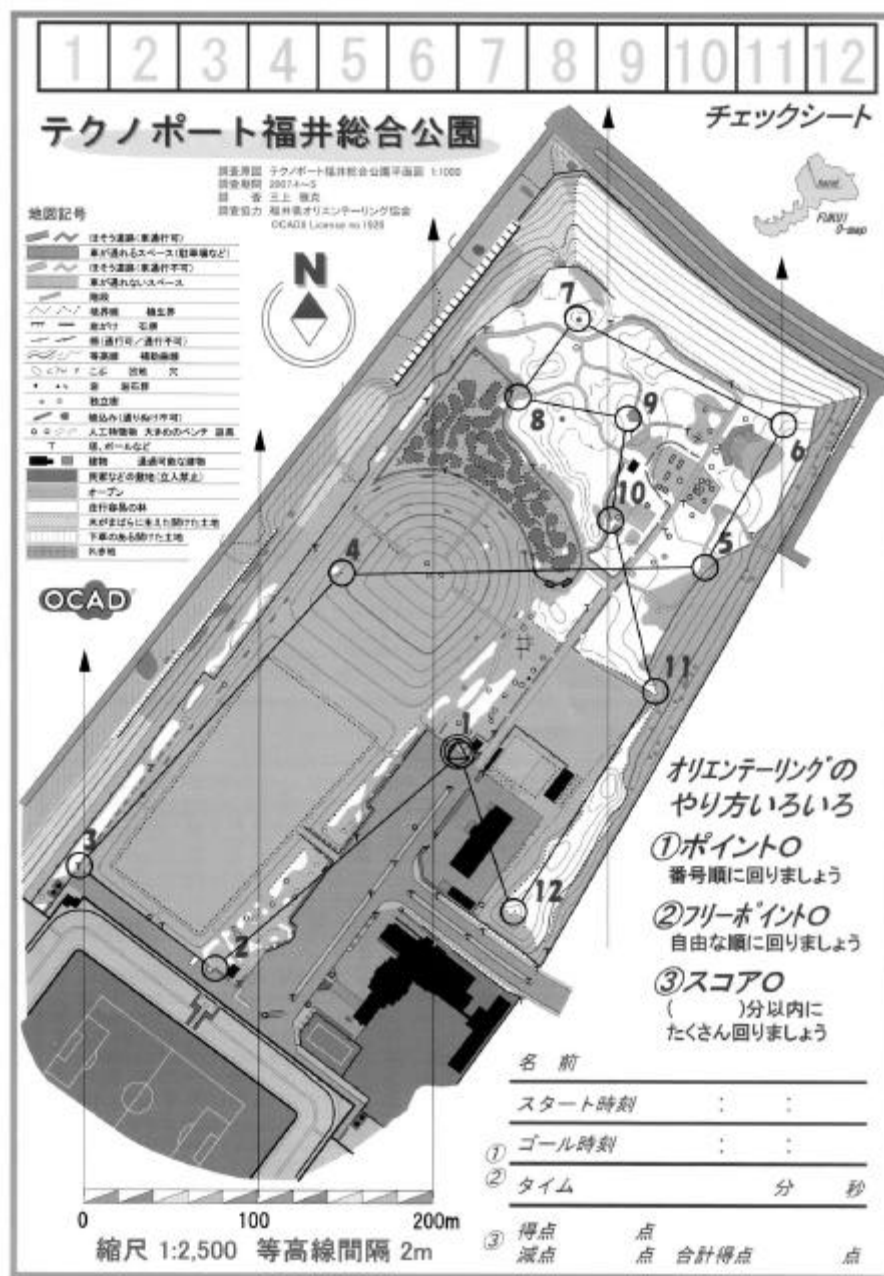
2007 年 10 月 1 日に開設されたばかりの「テクノポート福井総合公園」コースは、その距離わずか 1.5km。奥高尾の 10 分の 1 しかありません。これまでなら「あり得ない」設定でしたが、より易しいコースで利用者を募るという昨今の流れの中で公認されたコースといえるでしょう。

テクノポート福井総合公園があるのは福井県坂井市という何やら聞き慣れないところ。それもそのはずで、2006年3月に福井県北部の坂井郡にあった4つの町（三国町、丸岡町、春江町、坂井町）が合併して誕生したばかりなのです。福井県における平成の大合併の最終ケースでもあります。

公園のある「テクノポートふくい」とは、越前海岸にある福井港を中心に建設された工業団地のこと。1972 年から造成が開始され、90 年代に入ってから総合公園が整備されています。地図にも表記されている「テクノポートスタジアム」は、J1 規格を満たしてはいるものの、今のところ J リーグのクラブは有していません。しかし、将来 J リーグ入りを目指している北信越リーグの「サウルコス福井」が、2007 年よりホームスタジアムとして利用を始めています。

整備が行き届いたコース

さてこの日、広島の実家からは新幹線で京都まで行き、特急雷鳥号に乗り換えます。京都から1時間半で福井駅に到着。駅前にあるニッポンレンタカ



ーで現地までの足を確保します。公共の交通機関で訪れる場合は、北陸本線「芦原温泉」駅からタクシーが便利です。

福井駅から 20 km ほど走り、公園の入口にあるローソンで軽く昼食。坂道を上ると駐車場があり、すぐに案内板とその横に立つポストが目にとまります。このポスト、最初はサンプルかと思いきや、れっきとした第 1 ポストなのです。公園のホームページにも掲載されている地図に記されているスタ

ート地点は総合管理事務所の北端の角
となっていますが、これは誤りです。

案内板を覗き込んでみると、事務所から出てきた方に「オリエンテーリングですか」と声をかけられました。手にはマップを持参されており、こちらから請うまでもなく入手することが叶います。この方いわく、子供なら走って30分、大人が歩いても1時間あれば十分回ってこれるとのこと。せっかく遠路はるばるやってきたのだから、

ここはじっくり歩きたいという思いの一方で、踏破所要時間の最短記録でも作ってしまおうかという思いも湧いてきます。結局、スピードは競わず、周囲をゆっくり観察しつつ歩くことにしました。狭い敷地ながら、南側の芝生広場に中央の芝生築山、マレットゴルフやパットゴルフができる北側の林間部と変化に富んだコースが楽しめます。

さらに特徴的なのはポストのチェック方法。種明かしになってしまいますので、これは現地を訪れて確認してみてください。



第1ポストまではわずか2秒

気持ちよい公園内を巡る

開設から丸1年、いよいよ念願の最新コースを歩き始めます。時刻は11時13分。スタートしてわずか2秒後に第1ポストをチェックします。ポスト位置をわざわざ解説するのも憚られますが、園内のパットゴルフの案内看板のすぐ横です。ポストは勿論新鮮そのものですが、このコース特有のものが使用されています。

ここからがスタートといったほうがいいのかもかもしれません。第2ポストは駐車場を突っ切り、スタジアムへと向かいます。高くそびえるナイター用の照明を正面に見つつ歩いていくと、垣根の横にひっそりと第2ポストが置かれています。すぐ横で停車しているトラックの中で休憩しているドライバーは、ポストの写真を様々な角度から収める私の姿を訝しげに眺めていました。

青々とした芝生広場に清々しさを味わいながら、広場の西端に進みます。突き当たると、グランドゴルフ場に利用されているエリアに立つ第3ポストはすぐに確認できます。小さいスペースでも無駄にしない公園運営の熱意を感じます。

第4ポストがこのコースの最高地点。「正面に見える芝生築山を上っていく」と書けたいような山をイメージされるでしょうが、等高線間隔2m表記の2本分を上るだけ。わずか4mのアップです。そして、ポスト間隔は200m余り。このコースでは最長距離になります。前方後円墳のような形に築かれた山の「方」にあたる西端から上り、垣根横の芝生に立つポストに到達します。

うまい具合に隠れていて楽しいポストです。開放感満点の景色に、ごろりと寝転がりたい衝動に駆られます。



芝生築山から眺めるスタジアムと芝生広場

山のとっぺんまで上って、すぐに西へと下って行きます。この日は平日のため利用者もいないのか、ゲートの閉ざされたパットゴルフ場の正面入口前を通り、プチ大会気分を道を外れて突き進みます。わずかに上って道端にある第5ポストに到達。眼下に見えるENEOS石油は、この後の第6、第11ポストでもお目にかかります。

コース最東端にある第6ポストまでは、バーベキュー広場とパーゴラを通過。このあたりはわずかながらOL気分が浸れる区間です。地図表記よりも西側、生垣に沿った地点でポストを発見します。

第7ポストは公園の最北端。生垣に沿って道に出ると、丘の上にポストが置かれています。このあたりはポストが隣接して設置されていることもあり、途中で第7~9ポストが同時に見渡せる地点まであったりします。テンポよく三叉路脇の第8ポスト、第9、10とあずまや横で発見し、マレットゴルフ場併設の林を後にします。



第10ポストはあずまやの横

第11、12ポストはオリエンティアしか立ち入らない「裏側」的なエリアに設置されています。松の木の植えられた明るい芝地を歩くと下り坂の先に第11ポスト、ベンチ脇を抜けて最終ポストに到達します。目の前に見える建物は「港のホテル」。事務所を回りこんでゴールに到着です。

時刻は11時52分。所要は39分でした。

このあと、越前海岸の柱状節理眺め

つつ、越前町の「越前陶芸村」コースの調査に赴きました。かつての『O-JAPAN』誌に掲載されたレポートにはポストの高さが2mもあるということが記されており、興味津々で歩き始めます。結果、数箇所レポートどおりの背の高いポストを発見することができました。途中、何の障害もなく一巡りすることができるだけに、廃止が惜しまれます。

陶芸村自体は観光客も多いそうで、立派に整備されていました。

「オバマ」で話題になった福井県。ピカピカのコースが待っています。

(2008年10月3日 踏破)

(大高竜亮)